常磐文藝

吾が友に

希苦男

ともに泣きともに笑ひて
送る日を如何に樂しく
われ思ふらん

暗闇に人目忍びて吾が花と
口づけせんも君が情けよ

永へに兄と思ひて君が身を
したひて共に事なしたけれ

嵐斷ねぬ世を進まんに
君が身の供となるこそ
われうれしけれ

導け弱き小羊を永へに
君が情けは久方の
苦しき胸に刻みあるなり

社員招聘

東京 恒産株式會社 磐城支社
平郡役所通り

最も權威ある業務にして外交的
手腕を有する士を望む
月收百圓內外
……委細面談……

長い品を安く賣る
大谷時計店
洋品部
平町三丁目電話一九番

平町紺屋町
吉田眼科醫院

洋服◆オーバー
なかや
平町二丁目

喰べてたいしい
遠藤パン
（有聲廛隣）

店員募集
十四才より十七才まで
眞面目な御人を養成仕るべく
萬事家族的の待遇に候へば御
希望の向きに依り
御本人の給料、積立、獨立、方針、に
付き御面談申上度く是非
御申込み願上候
尙ほ目下在學中に候へし場合は
雇入方を豫約致し置くも差支へ
無之候
平町鍛冶町（電話一二一番）
吉田屋呉服店
吉田由三郎

歯科
平町土橋通り
原歯科醫院
電話卅一番

小兒科
內科
梅毒病科
（入院應需）
平町紺屋町
藤沼醫院
電話五〇七番

すましめ薦た
信頼ノ出來ル新藥ヲ
▲凍傷新藥（塗布藥）チユール（鹽野義製）十瓦入 三五 廿五瓦入 六〇
▲鎭咳祛疾新藥（咳藥）ブロチン（三共製）一〇〇錠入 一、〇五 一〇〇瓦入 一、七〇
▲解熱鎭痛新藥（風藥）ハイエルアルビリン（獨國バイエル會社製）十錠（〇五）一、二五 廿五瓦 二、〇〇
發賣元
關內藥局
平町四丁目　電話四〇番

株式會社賣買中値
電話に金融致します
銘格　拂込　時價
磐城銀行　圓 五〇、〇　圓 五三、五
平銀行　五〇、〇　六八、〇
同　新　株利　四、〇
磐越銀行　一二、五　一〇、五
磐城實業　五〇、〇　四二、〇
磐城實新　三〇、〇　二八、〇
田村實銀　一二、五　一二、五
四倉銀行　一七、五　一七、五
農工銀行　二〇、〇　二五、〇
同　新　一五、〇　一九、〇
百七銀行　五〇、〇　五二、五
同　新　一二、五　一四、五
七七銀行　一二、五　九、八
郡山電氣　五〇、〇　四七、〇
同　新　二五、〇　二二、五
只見川電　七、五　七、五
植田水電　一二、五　一五、五
好間水電　一二、五　一三、五
磐城建物　一二、五　六、〇
磐城製菓　二〇、〇　二、五
平信託　五〇、〇　二〇、〇
磐城勸業　一二、五　一三、五
植田物產　三〇、〇　二六、〇
平製氷　二五、〇　一八、〇
好間軌道　五〇、〇　二五、〇
入山新　二二、五　一七、〇
小田炭礦　二五、〇　七、〇
磐城炭礦　五〇、〇　四一、〇
同　新　二二、五　一八、〇
磐城セメント　五〇、〇　六五、〇
同　新　三五、〇　四四、〇
平運送　一二、五　八、〇
賣買誠實懇切機敏に御取扱
申候間多少に不拘御用命願
上候
平町田町　電話三二二番
丸登株式店
川添房二郎

大正十三年十一月八日第三種郵便物認可　常磐毎日新聞　（第三百六十五號）　（一）

常磐毎日新聞

二月二十日　夕刊

定價（一部）壹錢　（一箇月）壹圓五十錢　（廣告）五行十二字詰一行五錢　（休刊）毎月第一日曜日ノ翌日　（郵便）五厘

福島縣石城郡平町鍛冶町十一　印刷所　本社專屬　磐陽社

發行兼編輯人　川崎文治
印刷人
福島縣石城郡平町長橋町廿五番地　發行所　常磐毎日新聞社

社說

伊坂氏に多謝す

川崎文治

（二）

而して伊坂氏は常に冷靜を保つて謹嚴そのものゝ如き態度を失はぬ反面に壯者も猶ほ及ばざる熱血の士である。先年大瀧發電所問題が白熱化し栗原時の平電氣專務が縣廳に於て香坂知事より懇々と諭され水利權の斷念を契ふに至つた際同行の小田、中野兩氏の名を以て『スイリケン、ホウキセシメタ』の飛電が平町に齎らされた、反對同盟會の事務所にも此吉報が舞ひ込んだ爲め早速使者を飛ばして伊坂氏に此旨を傳へたのである、大瀧發電所の設置が水道に惡影響を及ぼして町百年の大計を樹立する上に甚だ香んばしからぬ結果を釀すべきを憂いて一刻も速やかに縣が不當の許可を取消されん事を切願し眞に是れ愛町の熱誠よりその成り行きを懸念して居た氏は右の吉報を耳にするや足袋はだしの儘同盟會事務所に走せ來り大原會長や其他居合した人々と相擁して『安心だ、安心だ、是れで平町も安心だ』と熱涙を老眼にたゝへて喜ばれた、此涙ぐましい劇的シーンを見て感に打たれぬ者はなかつたのである。此一挿話に依つても氏が歳老へたりと雖も五體をめぐる愛町の熱血が如何に力强きものであるかを想像するに難くない。氏は一面理智的の熟慮に富むと同時に此熱意を以て總べてを斷行し耕地の整理、公園の造成、菩提院墓地移轉、水道の實現其他平町の都市計劃の上に殘された足跡は枚擧に暇ない、今や老軀其職に耐ねずとして退かれた名町長伊坂氏を想ふ時思慕の念禁ずる能はざるもの豈たゞ筆者のみならんやである

（完）

活動館から

覗いた平地方の 觀客氣質は？ 戀愛物全盛で ジミなものは受けぬ

どう云ふ傾向を帶びた活動映畫が歡迎されるかに依つて略ぼ其地方の氣質や趨勢を知る事が出來る、帝キネ

直營の 有聲座主の語る處に依れば『平地方の觀客はジミなものよりも甘つたるい戀愛物を喜びます私の所では前週『サーカスデー』又今週は『舟に打乘り海原指して』を上場しましたが是れは何れも眞面目なものでどちらかと云ひば教訓劇です、處が是れ等は一部の具眼者には勿論非常な好評を博しましたけれ共

一般と しては濃艶なラブシーンがない爲め幾分もの足りない感を抱かせたやうです、また以前上場しました『血戰』や『肉彈』の如き戰鬪物は他地方には非常に向く、映畫ですのに平町にはそれ程でもありません、その代り戀愛もの以外に悲劇の中に滑稽の加味されたものや清水次郎長の樣な俠客物等は大受けです何んにしても平地方は

時代劇 も映畫劇も戀愛物一點張りならば大入は受合です』との事である

信用組合總會 石城郡内郷村信用組合は廿二日泉村購買組合は廿三日夫々役場に於て總會を開き大正十三年度資産負債勘定損益計算剰餘金處分案認定の件を協議すると

全町が 擧つて出動

奉仕日の勤勞 石城郡江名町にては十九日勤儉週間の奉仕日である爲め全村各一名宛を召集し中の作區長吉田太次郎、折戸同澤辰之助兩氏指揮の下に縣道及び村道を修理したと

狩獵家は 注意を要す

獲れぬ鳥獸 二月廿八日限りで狩獵の出來なくなる鳥獸はキヂ、山鳥、イタチ、テン、アナグマ、川ウソ、ムサヽビ、リス、狐、鹿、狸羚羊の十二種であるから一般狩獵家は此際注意して違反せぬがよいもしそれを犯すと三百圓以下の罰金に處せられると樫村平署長は語つた、

レコード コンサート

愈々明日開催 野の泉社主催本社後援を以つて明廿一日午後六時より藤田裁縫女學校に開催さるべきレコード、コンサートの入場券は四丁目柴田書店長橋町植頭商店、才槌小路ババース、ショップにて賣つて居るが僅か廿錢の入場料で泰西名樂を聽く事が出來ると云ふので非常に青年子女の血を沸かして居るか

燒跡から幼兒の 黑焦げ屍体現る

▽……山中の一軒家燒く

去る十八日午後一時頃石城郡川前村大字桶賣字大平農根本庄司方から失火し消防組駈け付けしも既に遅く遂に一戸を烏有に歸したが其跡から幼兒の黑焦げ死体が現れた

惡戯から この慘事を 引き起した

原因は當日家人が山に柴狩りに行つた留守中長男勇喜（六）と長女ひで子（三）が爐端にて遊んで居た處勇喜が惡戯を始め燃え殘りの薪を傍らに積んだ藁の中に突きさし煙の立つのを見て喜んで居たが其の内に火は屋根裏に燃ね移り遂に大事に至つたものにて其時ひで子は驚きの餘り一度は戸外に逃げ出せしも再び家の中に駈け込んだ爲め燒死するに至つたものであると。

平町農會總會 平町農會評議員會は本日午後一時から役場にて開會、豫算編成を協議し廿三日午後一時から役場に總會を開くと

拾ひ物の 横領者檢擧

本日二名取調 舊年末來平署への遺失物届出瀬々たるに拘ず拾得届は其三分の一にも達しない狀況なので同署にては或る種の方法を以つて拾得物横領者を檢擧せんと種々活動し

木炭の經濟法（上）

木炭を經濟的に使ふには、その用途によつて炭の種類を選ばねばなりません、まづ七輪に用ふには白炭が一等です、これは値段は高いが火力も強し、火保もよいから安い質の惡い炭を使ふより却へつて經濟です、そして火を消す時は、七輪の下の口を塞ぎ、上から鐵板で蓋をすると完全に消へますから水で消したり火消壺へとるより次にすぐ使用できますから手數も省け炭も無駄になりません、次は火鉢ですが、これには土かまを用ひます、しかし品質の惡いのは火保も惡るいので却へつて不經濟ですから同じ土竈でも質の堅い上等の炭を使ふとよろしいです火持をよくするには、粉炭を下に澤山敷いて其上によく熾つた火を入れて灰で埋めておきます。

立憲青年總會 石城立憲青年會は來る廿七日午前十時から聚樂館にて總會を開き終つて午後一時から政談演説會を催すと。

花合賭博に 藝妓が中心 一齊に旅舍檢

平町の狹斜の巷にては藝妓が中心となつて花合賭博盛んに行はれつゝある風評を耳にした平署は近く一齊に旅舍檢を行ひ風俗紊亂の一掃を期して賭博狩りを爲すて居るが本日も現に其嫌疑として取調べられつゝある者二名ある由

◇……不平受付……◇

◇……投書歡迎……◇

磐城の貨物自働車 磐城炭礦の炭カラ運搬の自働車が二臺三臺と列を爲して泥田の如き雪解の街路を然も全速力で泥の飛沫を亂しつゝ間斷なしに市中を駈けり往來の人の驚き騷ぐを車上面白氣に益々其の横暴振りを逞うするものの如し、知らず賢明なる新任平署長は是れを何んと見る

（村崎式部）

▽樫村平署長の答　現在にても充分取締を嚴重に遣つて居る積りであるが一層その徹底を期そう。

常磐片々

○

拾ひ物の猫糞をきめた者共に平署檢擧の手を伸ばす、天から授つた不運とあきらめるか

○

家の者が山へ柴狩りに行つた後で幼兒が黑焦げ、これではた伽噺しにならぬ

○

平人士は最も戀愛物を好むと活動館主の談、サテは甘く見られたか、鼻下の寸法を測つて熟慮一番を要す

○

昨今の賭博は藝妓が中心、惡事の陰に女ありとネ

小荷物は 五十斤迄に

本日から改正 愈々本二十日から鐵道小荷物は今までの八十斤制限がぐつと下がつて一個五十斤止まりとなり、五十斤以上の品物は貨物として取扱ふことになつた、但絹糸、絹織物、鮮魚は五十斤を越えても差支へない、取扱ひの時間も今まで無制限であつたのが今度は牛乳、鮮肉、魚介類、野菜、果物、鷄卵新聞紙、同原稿、雜誌以外の小荷物は午前八時から午後十時までと制限されその上鐵道省が指定した旅客列車で指定した區間を輸送する、食料品は卅斤まで五十マイルまで卅錢、百五十マイルまで五十五錢と改正實施されるが小荷物を五十斤と制限したのは一人の人夫が持ち上げられる程度にしたので從つてこれから配達は迅速になるだろう

波浪が高く 出漁が出來ぬ

石城郡各濱は十六日天候激變し十七日の降雪となつたので出漁中の漁船は無事歸港したが波浪高く當分出漁の見込がないと。

募集

文藝其他投稿を募集します

郷土文化遅る

平町郷土文化會發行の雜誌『郷土文化』本月號は印刷所の都合に依り下旬頃發行の豫定であると、

兎の耳

廿七匹の猫を飼ふ 秋田町通町青葉神社の境内に住む富田梅太郎夫婦は大の猫すきで二十七匹飼つてゐる日に二升五合の飯を食つて雜用の掛るのはまだしも太郎（猫の名）の如きは毎日酒を一合六勺位飲んで好い氣持にならぬと承知しないと。

演藝たより

◇有聲座　佐平次捕物帖の『髑髏の印籠』を始めの『血槍九郎』は帝キネ傑作の時代物にて野球ローマンス『戀の勇者』には松本泰輔が出演、今晩から上場される

平町人事

▲婚姻

△安積郡桑野村　會社員柴廣六氏（二七）新川町松崎モト（二八）
△石城郡平窪村　寫眞師藤葉忠藏氏（二四）五丁目三森アサ（二二）
△同上　農上妻綱次郎氏（七〇）鎌田町猪狩ユミ（五六）

▲死亡

△舊城跡青木昌司（二つ）
△鍛冶町入七　端山綾子（四つ）
△新川町一四　藁谷ヒデ（三三）
△三丁目一〇　渡邊ダイ（二四）
△立町一〇六　飯島利信（二つ）